

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ことばはうすさくら 鶴沼教室

公表日 令和7年3月20日

利用児童数 31名

回収数 23名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	5		1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	5		3		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	5		3		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18			5		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	3		1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	2				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	5				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	2		2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	1				
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	4	5	10			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	4	1			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	2	1	2		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	4	5	9		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20	3				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	2	4	4		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22			1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	7	5	7	・特に必要とは感じていません ・保護者同士の交流が全くなく、どのよう なご家庭がいらっしゃるのかわかりま だてております。その際は覗きにきていた だけありがたいです。	お子さまの様子がいつでも見られ、ほか の方とも交流できるような会の開催を考 えております。その際は覗きにきていた だけありがたいです。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	5		3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	2		3		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	5	2	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	4	2	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	2		1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	2		4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	3		1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22			1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	1	1		帰ってきて「楽しかった!」「ゲームした」などの発言が増えており楽しんでいる様子	これからたくさん楽しいことを行えるように考えていきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	2			いつも子供たちに対し、真剣に向き合ってくれていて感謝しています	毎回皆さまからパワーをもらっています。今後とも皆さんと楽しんで過ごしていきたいと思っています

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こぼんはうすさくら 鶴沼教室			公表日		2025年 3月 20日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4			0
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	法令を遵守し、福祉分野での経験と専門性を備えたスタッフ配置に努めております。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	パーテーションや家具などを活用して活動エリアが明確に伝わるよう配慮しています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	消毒・換気も含めて、清掃チェックリストに基づいて実施されている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	宿題の実施、体を動かすレクリエーションなど、必要に応じて生徒様が選択できる環境になっている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	支援目標の設定や活動プログラムの策定時には支援会議を実施しています。	療育終了後のクルーミーティングにて、全職員で振り返り、次回の取り組み事項まで決めていきます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	毎月の職員会議で議題を出し、療育やその他の業務の改善に向けた話し合いの場を設けています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	外部研修に加え、虐待（身体拘束）防止、感染症対策、非常災害、継続研修（年6回以上）、その他勉強会等の機会が定期的にある。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	保護者面談を行い、ニーズの把握と児童の行動観察を記録しています。	保護者の許可を得た上で、学校などと連携を図り、広義なアセスメント結果も踏まえた支援計画の作成をしていきます。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1		支援計画にガイドラインの項目を設定し、その項目を意識した取り組み内容をもって、具体的な療育の実施をしています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	療育後の振り返りやケース会議、職員会議などを通して、活動プログラムを立案し、チームで共通理解を図っています。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	療育の開始までに支援内容（活動内容）や役割を決め、共通認識のもと、支援に取り組んでいます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	モニタリング、支援会議等を通して、特性や発達段階に配慮した計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	業務や人数によってできる日とできない日があるが時間を作り、毎日振り返りをしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	各関係機関と連絡をとりながら、必要に応じて個別支援計画の継続・見直しなどの判断を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	個人のスキルに合わせて、活動内容を視覚化し、選択できるように工夫しています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	管理者又は児童発達支援管理責任者が参加している。事前に職員間で情報共有を行い資料を準備している。	会議開催後の詳細な報・連・相を徹底していきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2	学校や事業所、障害福祉課などは連携できるように現在取り組んでいる。	医療機関との連携は地域課題として考えられる。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	学校の年間行事、計画は各学校のホームページで確認している。下校時間については、学校と情報共有をしている。	支援学校、支援学級ともに詳細な連絡調整ができるように検討していきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	担当者会議の参加の依頼があった（関係機関）際は対応している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0	対象児はいませんが、組織的な体制の整備と対応の手順など職員間で共通の認識に努めています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1	児童発達支援センターとの連携は対象者の年齢もあるせいか行われていない。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	療育の際にこどもの状況や課題について話をする機会を設けたり、必要に応じて個別に相談の時間も設けています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		ペアレントトレーニング自体は行っていませんが、保護者様からの子どもの関わりに関する相談支援等を行っています。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	1			
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	定期的なモニタリングの際には、サービス等利用計画と実際の本人の様子、ご家族の現在の想いを聞き取りながらサービス提供を行っています。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	支援計画書を作成し、保護者に説明のうえ同意のサインをいただいています。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	希望に応じて相談を受け付けています。また、モニタリング時に相談の時間も設けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2		今年度茶話会を計画しましたが、ご希望される方がいらっしゃいませんでした。来年度はニーズ調査を行い、必要とされる形での交流の場を設けていきたいと思ます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。	苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	その日に取り組む教材が視覚的に分かりやすくなるよう構造化するなど、伝わりやすい方法を児童や保護者様に合わせるようにしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	地域の方を招待して、何か行事を行うことは実施できていない。	お祭りやイベントなど、法人での行事を定期的に企画し、地域の方を招待していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	定期的な研修の実施、緊急対応マニュアル、感染症マニュアルなどは作成している。	保護者の方に確認できるよう掲示も行い、お便りにて詳細を報告していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1	BCP計画を作成しており、訓練等も実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	保護者の方とのやりとりで発作や投薬の情報を共有している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	アレルギーの方は現在いないが、情報をもらえるようお願いをしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全計画を作成している。	必要な研修や訓練（内容）も今年度は定期的に計画書に沿って実施の予定。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		安全計画を掲示していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1	毎日のミーティングで、ヒヤリはっと事例について話し合い、検討・再発防止に向けた取り組みを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	虐待防止のための研修(事例検討、講義)などを行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	前例がない。	放課後等デイサービス計画に身体拘束することが予想される場合記載することとしている。	